



『夜明けをつれてくる犬』

よ あ いぬ
吉田 桃子／著 講談社 913



美咲は、家でも学校でも思ったことを
はっきり話すことができません。まるで
のどの真ん中に見えないビー玉がつまっているみたい
です。いつもそばにいた飼犬のレオンも死んでし
まいました。そんなとき、近所のお花屋さんでレオン
とそっくりの犬を見つけた美咲は、お花屋さんのおね
えさんと友だちになり、少しずつ変わり始めます。

『ラチとらいおん』

マーク・ベロニカ／ぶん・え

とくなが やすもと／やく 福音館書店 E*



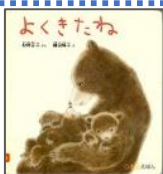
ラチは せかいじゅうで いちばん よわむしの お
とこのこ。あるひ ラチのところへ ちいさな あかい
らいおんが やってきました。らいおんが いっしょ
なら いぬも まっくらな へやも こ
わくありません。ラチは だんだん
つよくなって いきました。



『よくきたね』

まつの まさこ
松野 正子／ぶん

かまた の ぶこ ぶんかんしょうてん
鎌田 暢子／え 福音館書店 E*



「おいで おいで ここまで おいで」と おかあさん
が よんでいます。ほら、こどもたちが やってしまし
た。みんな とっても うれしそうです。「よくきた よ
くきた いいこ いいこ」と やさしい おかあさんの
こえが きこえてきそうな えほんです。

『ぼくたちは みんな 旅をする』

ローラ・ノウルズ／文

クリス・マッデン／絵 石川 直樹／訳 481

たび



ひろい世界を旅をしながら生きる動物
たちがいます。季節の変化とともに、食
べ物をさがし、子どもを産み、育てる場所
を見つけてます。オサガメはクラゲの群れ
をさがして1万キロも旅をするそうです。いろいろな
動物の旅の様子をみてみよう。



『かんけり』

いしかわ さく かん
石川 えりこ／作 アリス館 E1



ともだち7人んで かんけりをしま
した。わたしは、かんを けるのが こ
わくて、まだ だれも たすけたことが
ありません。でも さいごに のこったのは、わたし
ひとり。なかよしの りえちゃんが たすけての あい
ずを おくっています。わたしは、ゆうきをだして
いっぽ ぶみだしました。

『マララのまほうのえんぴつ』

マララ・ユスフザイ／作 キャラスクエット／絵

木坂 涼／訳 ポプラ社 936



マララさんの うまれたまちは ぶき
をもった おとこたちに しはいされま
した。おんなのこは がっこうにも い
かせてもらえません。「もっとまなびたい。こえをあ
げなくちゃ。」マララさんは せかいにむけて このま
ちで おこっていることを つたえはじめました。

『子どもお悩み相談会』

作家7人の迷回答

角田 光代 (他)／著 中央公論新社 159



「夏休みの宿題、ギリギリやる派はダメ…?」「す
ぐくヨクヨしちゃいます」などのお悩みに、人生の
先輩である7人の作家さんが、ズバっと?お答えしま
す。作家さんの迷回答は、くすっと笑えるものばかり
で、いつのまにか楽しい気持ちになりますよ。



『ちいさいわたし』

かさい まり／さく

おかだ ちあき／え くもん出版 E*



できないことが いっぱい あるけど、いまは おお
きくなる とちゅう。きっと いつか できるように
なるよね。でも、おともだちと なかなかおり するの
は いまじゃないと だめ。ゆうきを だして すこし
おおきくなった おんなのこの おはなしです。

